

Press Release

報道各位

2020 年 12 月 4 日

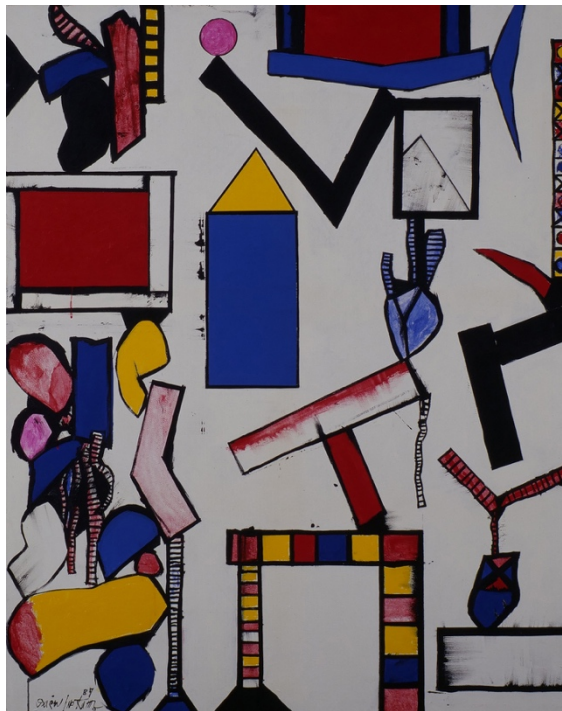
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ美術振興財団

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 「猪熊弦一郎展 色に注目！—赤・黄・青から見てみると？—」 開催のお知らせ

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（ミモカ）は、来年 1 月 23 日より「猪熊弦一郎展 色に注目！—赤・黄・青から見てみると？—」を開催します。

本展では赤、黄、青の三つの色に注目し、当館のコレクションから約 50 点もの作品を一挙に展示します。

色の効果や猪熊の特徴に着目することで、誰もが美術を楽しみ、身近に感じることができる展覧会です。プレス関係の皆様には広く告知いただきたく、お願い申し上げます。



猪熊弦一郎《二つの門》1987 年 ©公益財団法人ミモカ美術振興財団

【お問い合わせ先】

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ美術振興財団
企画展担当：松村 円 広報担当：奥本未世
〒763-0022 香川県丸亀市浜町 80-1
Tel. 0877-24-7755 Fax. 0877-24-7766
www.mimoca.org E-mail. press@mimoca.org



■本展について

私たちは身の回りのものを選ぶときにその色によって判断するなど、色を気にかけてものを見えています。絵画を見る際にも、どんな色で描かれているか、色合いやコントラストなどを追いながら見るのは楽しいものです。そこには色の美しさへの驚きや、思いもよらない色遣いを発見する喜びがあり、また画家の特徴もあらわれています。

本展では、対象が何であるか関係なく色に注目して見るという、日常生活で自然と身についている方法で、猪熊弦一郎（1902-1993）の絵画を見てみます。猪熊の絵画は豊かな色彩が特徴ですが、まずは赤、黄、青の3色を取り上げて「色に注目」する初めの一步とします。それぞれの色で描かれた作品に始まり、3つの色を自在に組み合わせたもの、さらに他の色も加わったものまでを見ると、作品との距離がぐっと近づき、色から広がる絵画の世界がきっと開けてくるでしょう。

■本展の特徴

単色の魅力

まずは色に注目することに慣れるため、赤、黄、青のそれぞれで描かれた作品をご紹介します。1色と言ってもそれぞれに色合いが異なる作品からは色のもつ奥深さが感じとれます。各色と黒または白のみで描かれていながら見ごたえのある2メートルほどの大きな作品が目白押し。色の魅力とともに猪熊の画面を構成する力が堪能できます。

複色色の響きあい

会場では単色の絵画から3色のうちの2色、また3色すべて、さらに他の色も加わった作品へと展開していきます。どの色が、どこに、どのように用いられているかをじっくり見て、複数の色が響きあう美しさがどのように生み出されているか探ります。

■主な出品作品



《Water Shores B》1970 年



《Two Shores (Yellow)》1970 年



《Landscape BY》1972 年

■主な出品作品



《黄色の星座都市》1986 年



《三人娘と自転車》1938 年



《馬と道化》1955 年

画像作品は全て©公益財団法人ミモカ美術振興財団

■作家紹介

猪熊弦一郎

1902 香川県高松市に生まれる。

1921 旧制丸亀中学校（現 香川県立丸亀高等学校）を卒業。

1922 東京美術学校（現 東京藝術大学）西洋画科に入学。3 年次から藤島武二に学ぶ。

1926 帝国美術院第 7 回美術展覧会（帝展）初入選。1929年、第10 回帝展で特選。1933年にも第14回帝展で 2 度目の特選となり、以後は帝展無鑑査となる。

1936 志を同じくする伊勢正義、内田巖、小磯良平、佐藤敬、三田康、中西利雄、脇田和、鈴木誠と新制作派協会（現 新制作協会）結成。以後、発表の舞台とする。

1938 念願のパリに留学（1940年まで）。アンリ・マティスに学ぶ。

1944 神奈川県津久井郡吉野町（現 神奈川県相模原市）に疎開する（1946年まで）。

1950 三越の包装紙「華ひらく」をデザインする。以後、現在まで使われている。

1955 再度、パリへの留学を決意し、アメリカ経由で出発する。途中で立ち寄ったニューヨークの熱気に魅力を感じ、以後、約20年間ニューヨークで活動が続ける。作品から具象の面影が消え、少ない色数で抽象画を描く。

1973 一時帰国。ニューヨークへ戻る際に開かれた送別会の席上、脳血栓で倒れる。

1975 ニューヨークでの制作が困難になり、アトリエを閉める。以後、冬の間はハワイで、その他の季節を東京で制作する。色彩が豊かになる。

1989 丸亀市へ作品1000点を寄贈。

1991 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館開館。

1993 東京にて逝去。90 歳。

■開催概要

展覧会名 | 猪熊弦一郎展 色に注目！一赤・黄・青から見てみると？ー

主催 | 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人 ミモカ美術振興財団、

会場 | 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 3階展示室C

会期 | 2021年1月23日(土)～3月7日(日)

開館時間 | 10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 | 月曜日

入館料 | 一般 950 円(760 円)、大学生 650 円(520 円) 常設展の観覧料含む
高校生以下または 18 歳未満・丸亀市在住の 65 歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方とその介護者 1 名は無料
※()内は前売り(企画展のみ)及び 20 名以上の団体料金

同時開催

常設展「猪熊弦一郎展 ニューヨークでの画業」

入館料：一般 300 円(240 円)、大学生 200 円(160 円) ※企画展の観覧料は別途

■関連プログラムについて

親子で MIMOCA の日

2021 年 2 月 13 日(土)、14 日(日)

子どもが芸術に触れる機会を増やすことを目的として 2020 年度より開始しました。この日は高校生または 18 歳未満の観覧者 1 名につき、同伴者 2 名まで観覧無料となります。

その他、ギャラリートークやワークショップなど展覧会の関連プログラムについては、新型コロナウイルス感染の状況を確認の上、開催の判断をいたします。開催にあたっては改めてプレスリリースにてお知らせいたします。

■広報用画像について

出展作品の画像を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記 URL からお申し込みください。

<https://www.mimoca.org/ja/press/>